

令和8年 第8回 定例教育委員会 会議録

日	時	令和8年8月28日（金） 15時00分～16時30分			
場	所	阪南市防災コミュニティセンター1階研修室			
出席者		〈教育委員会〉			
	教 育 長	向 井 説 行			
	教育長職務代理者	八 田 三 紀			
	委 員	辻 雅 之			
	委 員	水 島 浩 子			
	委 員	柴 崎 一 也			
		〈事務局職員〉			
	生涯学習部長	松 下 芳 伸			
	生涯学習部理事	石 原 慎			
	副理事兼中央公民館長	藤 田 学			
教育総務課長	永 井 隆 祐				
学校給食センター所長	寺 井 浩 之				
学校教育課長	両 口 通 寛				
生涯学習推進室長	秋 山 秀 子				
学校教育課長代理	和 田 武 史				
中央公民館長代理	平 山 富 憲				
事務局		教育総務課主事	宮 坂 怜 来		
書記		教育総務課主事	宮 坂 怜 来		
傍聴者		なし			

会議の要旨

(教育長)

令和8年第8回定例教育委員会を開会する。

本会議は、出席委員が定足数に達しており、有効に成立している。

署名委員に辻委員を指名する。

◆承認事項第1号「令和8年第7回定例教育委員会会議録について」(教育総務課)

(教育長)

承認事項第1号は、「令和8年第7回定例教育委員会会議録について」であるが、本会議録は、教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、委員会の承認が必要である。

意見、質問等はないか。

(全委員)

意見、質問等なし。

(教育長)

承認事項第1号について、案のとおり承認されたものとする。

◆協議事項第1号「阪南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について」(生涯学習推進室)

(教育長)

協議事項第1号「阪南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について」生涯学習推進室の説明を求める。

(生涯学習推進室長)

阪南市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について、国の「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の改正に迅速かつ適切に対応できるよう、本条例の全部改正を行いたいので、協議をお願いするものである。

なお、施行期日は、公布の日である。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、意見、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

協議事項第1号について、案のとおり協議が整ったものとする。

◆議決事項第1号「令和9年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について」
(学校教育課)

(教育長)

議決事項第1号「令和9年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について」
学校教育課の説明を求める。

(学校教育課長代理)

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条、同法施行令第15条第1項の規定により、令和8年度使用教科用図書と同一の教科用図書を採択しなければならないとされている。そのため、令和9年度についても令和8年度に本市で使用した教科書を採択するものである。

詳細は、資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、意見、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

議決事項第1号について、案のとおり議決されたものとする。

◆議決事項第2号「阪南市立文化センター及び阪南市立図書館指定管理者選定委員会委員の任命について」(生涯学習推進室)

(教育長)

議決事項第2号「阪南市立文化センター及び阪南市立図書館指定管理者選定委員会委員の任命について」生涯学習推進室の説明を求める。

(生涯学習推進室長)

本選定委員会は、「教育委員会の指定管理者制度導入施設モニタリングマニュアル」に基づき、「第三者モニタリング」を実施している。今年度は、阪南市立文化センター及び阪南市立図書館の指定管理期間の4年目に該当することから、令和7年度の第三者評価を行う。選定委員会委員のうち「教育委員会事務局職員」を令和8年度の職員体制に合わせて、任命を行うものである。

(教育長)

ただいまの説明を受けて、意見、質問等はないか。

(辻委員)

指定管理期間は基本的に5年間である。その5年の間に選定委員会委員である職員が異動になった場合、指定管理者を選定していない職員がモニタリングを行うことになる。人事異動の問題なので難しいと思うが、選定した委員が評価にも携わってもらう方がいいのではないかと。

また、指定管理者が運営する公民館のモニタリングは当該選定委員会が行うが、

市直営で運営されている公民館のモニタリングについてはどうなっているか。

(中央公民館長)

市直営の公民館運営については、公民館運営審議会に報告を行っており、委員からは公民館活動について意見をもらっている。また、社会教育委員会議や教育委員会などでも報告し、意見をもらうこともある。

(生涯学習部長)

中央公民館長から教育委員会所管の評価について説明があったが、市全体としては外部評価の制度がある。

(生涯学習推進室長)

選定に携わった委員には、可能な範囲で評価にも携わってもらえるようお願いしているところである。しかし、人事異動や代表が変わるなど、やむを得ない事情がある場合は、選定の際の資料などをきっちり引き継ぐこととしている。

(辻委員)

文化センターなら文化センター、公民館なら公民館のモニタリングをしてくれる市民モニターのような人を募集してもいいかもしれない。

(教育長)

他に、意見、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

議決事項第2号について、案のとおり議決されたものとする。

◆報告事項第1号「後援名義使用許可について」(教育総務課)

(教育長)

報告事項第1号「後援名義使用許可について」教育総務課の報告を求める。

(教育総務課長)

令和8年7月1日から7月31日までの間に教育委員会が後援し、名義の使用を許可した12件について、報告する。

1件目は、ママと子どものSmileラボ主催「お小遣いの渡し方セミナー」である。令和8年9月15日から12月11日までの期間のうち、資料記載の20日間、各日10時から11時及び21時から22時において、オンラインにて、小中学生の子どもがいる親を対象に、年齢別のお小遣いの渡し方や考え方についてのセミナーが開催される。

2件目は、音楽玉手箱マトリョーシカ主催「0歳から親子で楽しめる 夏休み！フルートとピアノのわくわくコンサート」である。令和8年7月26日に、阪南市立西鳥取公民館多目的ホールにおいて、マタニティのプレママや0歳から小学生の子どもを持つ親子を対象に、0歳から親子で楽しめるクラシックコンサートが開催された。

3件目は、一般社団法人泉南青年会議所主催「パワーUP！おぎきの夜店」である。令和8年8月9日に、阪南市役所前駐輪場跡地において、一般の方を対象に、地域活動の活性化や住民同士のつながりの構築を目的として、縁日ブースを配置した夜店祭りやビンゴ大会が開催された。

4件目は、夜店推進委員会主催「復活！！おぎきの夜店」である。令和8年8月2日に、阪南市役所前駐輪場跡地において、一般の方を対象に、地域住民のシビックプライドの醸成を目的として、夜店まつりが開催された。

5件目は、一般社団法人泉州バリアフリー協会主催「せんなん里海公園バリアフリービーチ」である。令和8年7月26日に、せんなん里海公園しおさい楽習館人工磯浜において、車椅子ユーザーや高齢者を対象に、砂浜からそのまま海に入って浮かぶことができる水陸両用の車椅子などを活用して、車椅子ユーザーが安心して海に入ることができる取組が行われた。

6件目は、株式会社泉佐野自動車教習所主催「秋の交通安全運動 教習所一日開放 さのドラDAY 自転車の交通安全教育『自転車デビューその前に！！』」である。令和8年9月23日に、同教習所校舎及び所内コースにおいて、小学3年生を対象に、自転車の交通安全教育を中心としたイベントが開催される。

7件目は、「第56回大阪府人権教育研究泉南大会」である。令和8年10月23日、24日に、同現地実行委員会主催で、泉南地区内の公共施設や小中学校において、大阪府内教職員を対象に、人権教育についての交流・議論を行う研究大会が開催される。

8件目は、「第34回KIX泉州国際マラソン」である。令和9年2月14日に、同実行委員会主催で、30kmマラソンは高石南交差点付近からりんくう公園、ハーフマラソンは岸和田市役所付近からりんくう公園において、18歳以上の方を対象に、マラソン大会が開催される。

9件目は、特定非営利活動法人子どもNPOはらっぱ主催「舞台鑑賞『カドヤ食堂のなぞなぞ』」である。令和8年10月3日に、阪南市地域交流館体育施設において、一般の方を対象に、考える力や想像力を育む参加型の児童演劇が開催される。

10件目は、朗読ほほえみ主催「初心者のための朗読・朗読の世界を楽しもう」である。令和8年11月17日に、阪南市立図書館2階視聴覚室において、一般の方を対象に、講師による朗読やワークショップ、同団体による群読が行われる。

11件目は、一般社団法人泉南青年会議所主催「岬町夢列車プロジェクト『子どもたちが描く岬町を乗せて 多奈川線出発進行！』」である。令和8年11月23日に、多奈川線車両及び周辺を含む各駅において、大阪府内の幼稚園・保育所から中学校までに通う子どもたちを対象に、子どもたちが描いた「岬町の風景」をテーマとした作品を多奈川線の車両内及び駅構内に展示するなどのイベントが開催される。

12件目は、一般社団法人泉佐野市文化振興団主催「第15回あのねフェスティバル」である。令和8年9月23日に、泉佐野市文化会館エブノ泉の森ホール

レセプションホールにおいて、一般の方を対象に、小学生の詩コンクール入賞者の発表・表彰や、過去受賞作品を含めた作品を展示するイベントが開催される。

これらの事業は、阪南市教育委員会の後援等に関する規則第2条各号のいずれにも該当するとは認められないことから、名義の使用を許可したものである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(柴崎委員)

7件目の「第56回大阪府人権教育研究泉南大会」について、本市からも参加や発表等はあるのか。

(学校教育課長)

本研究大会は、泉南地区の各会場において人権教育についての取組の報告や交流等を行うものである。本市からは、貝掛中学校が取組の報告を行うと聞いている。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(辻委員)

6件目の「秋の交通安全運動 教習所一日開放 さのドラDAY 自転車の交通安全教育『自転車デビューその前に！！』」に関連して、本市での交通安全指導はどのようなになっているか。

(教育総務課長)

市民全体向けの啓発活動については、市長部局の生活環境課が事務局となっている「阪南市交通事故をなくす運動推進協議会」が中心となって実施している。

この協議会は、交通事故の撲滅と市民の生命安全を図るため設置された組織で、市長が会長を務め、阪南市の関係部局、泉南警察署、阪南市防犯委員会、阪南市商工会、阪南市PTA協議会、泉南交通安全協会、小中学校長代表などの関係団体で構成されている。

協議会の主な活動として、総会、春・秋の全国交通安全運動期間における街頭啓発活動、または幼稚園・保育所・認定こども園での幼児交通安全指導、高齢者向け交通安全運動などの交通安全教育を実施している。

さらに、交通安全啓発チラシの配布やポスターの掲示など、多角的な広報活動を展開している。特に近年は、自転車ヘルメットの着用の普及活動に注力し、交通事故死亡者数ゼロを目標に取り組んでいる。

多様な機関が連携し、様々な活動を実施することで、市民の皆様へ啓発するとともに地域全体での交通安全対策を推進している。

(学校教育課長)

各学校においては、登下校時の安全も含めた交通安全教育について、学級活動や集会等において交通安全の啓発や注意喚起を行うなどの方法により交通安全指導を実施している。

小学校では、長期休業前の時期等に警察署から講師を招き、交通ルールや事故

防止についての講義を開催している。また、中学校では自転車で通学する際にはヘルメットの着用を義務付けており、左側通行や並走、信号や交差点での飛び出し注意などの交通ルールについての交通安全指導を適宜行っている。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第2号「阪南市教育委員会社会体育施設指定管理者電気料金高騰対策緊急支援金交付要綱の制定について」(生涯学習推進室)

(教育長)

報告事項第2号「阪南市教育委員会社会体育施設指定管理者電気料金高騰対策緊急支援金交付要綱の制定について」生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

本要綱は、エネルギー価格の高騰に伴い、電気料金値上がりの影響を受けている社会教育施設の指定管理者の負担を軽減し、安定的かつ継続的な市民サービスの提供体制を確立するため、制定するものである。

なお、施行日は、令和8年6月22日である。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第3号「阪南市子ども読書活動推進会議設置要綱の一部改正について」(生涯学習推進室)

(教育長)

報告事項第3号「阪南市子ども読書活動推進会議設置要綱の一部改正について」生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

本改正は、機構改革に伴い、これまで健康増進課で実施していた母子保健業務などの事業がこども支援課内に設置された「こどもすこやかセンター」に統合されたことによるものである。

詳細は、資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件①「教育委員会関連行事について」（各担当課）

（教育長）

教育委員会に係る行事等について、その内容と主たる担当課を示している。
各課の報告を求める。

※詳細は資料のとおり

（教育長）

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

（教育長職務代理人）

8月30日に行われる「カンテレアナウンサー関&豊田のおしゃべり朗読会」について、このようなアナウンサーを招へいしての企画は今回がはじめてか。また、現時点でどのくらいの申込があるのか。

（生涯学習推進室長）

今回のようにアナウンサーを招へいしての朗読会は初めてである。当日の参加者は、概ね200～250人を予定している。

（教育長）

他に、質問等はないか。

（全委員）

質問等なし。

◆その他案件②「教育委員会関連行事等の報告について」（各担当課）

（教育長）

その他案件②「教育委員会関連行事等の報告について」各課の報告を求める。

まず初めに、7月24日に開催された「初任者研修『皿田能』」について、学校教育課の報告を求める。

（学校教育課長）

7月24日に東鳥取小学校において、今年度新たに採用された教員を対象とした「阪南市初任者研修」を実施した。本市の古典芸能である「皿田能」を題材とし、講師には、阪南市教育委員であり能楽の担い手として活躍する辻雅之氏を招いて行った。

前半の講義では、能の歴史や基本的な知識について解説がなされた。特に、辻先生自身が現在も鍛錬を続けているという話は、新たに教職の道を歩み始めた参加者にとって、「教員として学び続けることの重要性」を改めて深く考える契機となった。

演習では、大鼓を用いた演奏体験が行われ、基本的な姿勢や、舞台に立つ際の挙措動作といった作法まで丁寧な指導があった。参加者は、伝統文化が放つ独特の緊張感に背筋を伸ばし、一つ一つの作法や動きを真剣な表情で確かめるように取り組んでいた。演奏後には前向きな感想が次々と上がった。

本研修を通して、参加者は日本の伝統文化の奥深さを肌で感じるとともに、「本物に触れたこの感動を子どもたちの学びにどう生かしていくか」という視点を持つことができた。自己研鑽の精神と授業づくりへの意欲を高める、実り多き研修となった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(辻委員)

皆さんの感想も見せてもらった。とても興味をもって取り組んでもらえたかと思う。学校現場に活かせることがあれば、それをもとに2学期以降も頑張ってもらいたい。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、7月26日に開催された「グランドピアノをひとりじめ講座」について、東鳥取公民館の報告を求める。

(中央公民館長)

この講座では、講堂にあるグランドピアノを30分間その人だけの空間にし、自由に演奏できる。昔習っていたピアノの引き直しや、友人との連弾等、使い方は自由である。この講座の他に一人1曲交代制で参加者の前でピアノを弾く「まちかどピアノ」への参加も期待して実施している。今回、申込が先着11組のところすぐに定員に達し、その後も問い合わせが多くあったため、8月15日に追加で実施した。参加者からは好意的な感想や前向きな意見が寄せられた。今後も「まちかどピアノ」「公民館ミニコンサート」と組み合わせて交流が生まれる工夫を行っていく。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(教育長職務代理者)

この講座は、室内で1人で弾くのか、それともギャラリーがいるのか。

(中央公民館長)

特に制限はしていないので、その時間の予約者次第である。

(水島委員)

参加者の年齢層はどのくらいか。

(中央公民館長)

10代の方が1人と、それ以外の方は全員50代以上という幅広い年齢層からの参加があった。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、7月27日に開催された「海洋教育教職員研修」について、学校教育課の報告を求める。

(学校教育課長)

本研修は、市教育委員会の主催で毎年夏季に開催しており、小学校の海洋教育担当者と小中学校の初任者を必須参加とし、その他は希望者の参加としている。今回は24名が参加した。

今年度は初任者が増えていることを受け、阪南市の特色ある教育として、阪南の、大阪の海について、初任者に知っておいてもらいたいという目的のもと実施した。NPO法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター専務理事の岩井克巳氏を講師に招き、「今、海で起きていること、今私たちができること」と題して、海洋環境の現状とSDGsの視点を踏まえた海洋教育について講義を行った。

その後、西鳥取海岸において海洋実践研修を行い、海での救助方法と地引網による生き物観察を通じ、参加教職員は海での活動を体験することができた。

本研修を通じて、参加教職員が阪南市の海洋教育の意義を改めて認識し、今後の指導に活かしていくことを期待している。また、市としても今後も海洋教育の推進につなげていけるよう努める。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、7月30日・31日に開催された「えほんのじかん（阪南市内の学校の先生の絵本の読み聞かせ）」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

市内の小・中学校の2年目教員の社会体験研修の一環として、学校の先生が絵本を読んでくれるおはなし会を2日間実施した。参加者は2回の合計で大人16名、子どもは27名であった。読み聞かせでは、先生たちの読み方や語りかけが工夫されており、先生の読み聞かせに対して、声を上げたり前のめりになって聞き入ったり、真剣に耳を傾ける様子が見られた。図書館を訪れた子どもが途中から参加する場面もあるなど、盛況に終えられた。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(柴崎委員)

偶然図書館に訪れた際に、読み聞かせが行われており、様子を見ていた。非常に良い雰囲気、良い取組だと思う。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、8月1日に開催された「親子プログラミング講座」について、西鳥取公民館の報告を求める。

(中央公民館長代理)

この講座は、プログラミングの楽しさを、体験を小さい頃から知ってもらい、将来のデジタル社会を担う人材づくりのきっかけとなることを目的に開催している。親子での参加を基本とし、8組16名が受講した。約3時間の講座で、座学と実技を行い、ボール型ロボットにタブレットを使って動作や音響をプログラミングし、動かしてもらったり、ドローンの操作をしたり、大人も子どもも一生懸命に試行錯誤して取り組んでいた。その後、継続して経験してもらえるように、ボール型ロボットの貸出を行い、多くの子どもたちが希望した。次回は、東鳥取公民館での講座を企画中である。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、8月2日、3日に開催された「コミュニティ・スクール導入に係る講演会」について、学校教育課の報告を求める。

(学校教育課長)

8月2日に地域の方・保護者を対象に、8月3日に教職員を対象にしたコミュニティ・スクール導入に向けた講演会を阪南市防災コミュニティセンター（まもる館）において開催した。

文部科学省コミュニティ・スクール（CSマイスター）の森万喜子氏を招き、「子どもの学びと育ちを、ともに支える地域・学校・家庭」というタイトルで講演がなされた。両日ともに40名を超える参加があった。地域としての関わり方や委員の人選、会議の持ち方などについて多くの質疑応答が行われ、参加者がコミュニティ・スクールについて理解を深める機会となった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、8月3日に開催された「第1回管理職人権研修」について、学校教育課の報告を求める。

(学校教育課長)

8月3日から25日までの間、阪南市教育委員会教育長職務代理者であり、和泉学園視察委員会委員や学校薬剤師など、多分野で活躍する八田三紀氏による講演が、オンデマンド配信にて行われた。

講演では、少年院に収容される子どもの背景や実態、少年院や地域で薬剤師として子どもたちと向き合う中で直接聞き取った親子や友人関係などの人間関係における複雑な葛藤や生きづらさに触れながら、若年層におけるオーバードーズの現状やSNSの利用に伴う諸課題、さらにはプライベートゾーンや避妊に関する正しい知識など、自他の心身を守るための実践的な内容の指導があった。また、管理職としてどのように児童生徒に寄り添うべきかについても多くの気付きを得ることができた。

また、今回は、管理職及び人権担当者に加え、初めて養護教諭にも視聴してもらったことで、「チーム学校」として多角的な視点から人権課題を共有することができ、大変有意義な機会となった。

研修後のアンケートにおいては、肯定的な意見が多く寄せられた。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(教育長職務代理者)

養護教諭にも話を聞いてもらえたのはよかった。講演内で話した例のほとんどが阪南市で現在進行しているものなので、個人が特定されないよう配慮したうえで情報提供した学校もある。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、8月11日に開催された「第16回中学生ビーチバレー大会」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

8月11日に、箱作海水浴場ぴちぴちビーチにおいて「第16回中学生ビーチバレー大会」を開催した。本大会は、全日本ビーチバレージュニア男子選手権の決勝戦の賑わいづくりと本市のスポーツ振興を目的として実施している。

昨年度は台風の影響により中学生大会は中止となったが、今年度は天候に恵まれ、市内中学校から男子は3チーム、女子は12チームの合計69名の生徒が参加し、熱戦が繰り広げられた。チームメイトと声を掛け合いながら、楽しくプレーする姿が印象に残っている。当日は厳しい暑さが懸念されたが、熱中症や大き

な怪我、体調不良者が出ることなく、無事に大会を終了することができた。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(水島委員)

現在、全日本ビーチバレージュニア男子選手権と中学生ビーチバレー大会が同日に行われている。仮に全日本選手権の会場が阪南市でなくなったとしても、中学生ビーチバレー大会については、スポーツ振興の観点から、今後も阪南市で継続して開催してほしい。

(生涯学習部長)

今年は近畿から和歌山県と兵庫県がベスト４まで勝ち残っていた。優勝は埼玉県、準優勝は新潟県であった。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、８月１５日から３１日まで行われた「自習室開放２０２６」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

８月１５日から３１日までの期間、阪南市立文化センターでは、今年度も夏季休業期間中に、練習室Ｂを自習室として開放しており、２０席用意している。

休館日を除く８月１５日から２４日までの１０日間の利用者は延べ２９名で、このうち２３名は高校生であった。現在のところトラブルもなく、利用者は皆、集中して自主学習に取り組んでいた。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、８月２３日に開催された「子ども将棋体験講座」について、尾崎公民館の報告を求める。

(中央公民館長代理)

この講座は、夏休みに将棋が上達するよう、７月２回、８月３回の全５回の講座を行った。主な対象者は小学生で、親子や大人の初心者も参加できる。

「将棋は成長、教育、交流の原点である！」をコンセプトとし、将棋をさすことで論理的思考力、観察力、コミュニケーション能力の向上にと、様々な恩恵を得られると考えている。ただのゲームではなく、学ぶ、対局、成長するを繰り返し、人間力の向上に役立つ。

定員は先着１０名であるが、毎回盛況で好評である。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他（教育長）

(教育長)

続いて、委員から何かないか。

(水島委員)

熊本地震が起こり、空調設備がない一部避難所が開設できなかったと聞いた。本市で暑い時期に災害が発生し、避難が必要になった場合のことを考えると、改めて小中学校の体育館の空調整備をお願いしたい。

(柴崎委員)

前回会議においても、子どもたちのために空調整備をお願いしたが、子どもたちだけではなく、市全体の問題である。いつ起こるかわからない災害に備えて、整備を進めてもらいたい。

(教育総務課長)

学校体育館の空調整備については、近年の酷暑、児童・生徒の健康を守り、教育環境を改善すること、加えて、熊本地震など多発する災害を踏まえ、喫緊の課題であると認識しており、早期の事業着手が必要であると考えている。そのため、近隣自治体の事例調査として設備内容などの聞き取り調査や現地調査を行うとともに、電気やガスといった空調方式のそれぞれの特徴を踏まえつつ、避難所機能も考慮しながら整備内容を検討し、導入コストやランニングコストのシミュレーションなどを行っているところである。教育委員会としては、市長部局とも協議検討を行い、早期に設計委託料を予算に計上できるよう取り組んでいきたい。

(辻委員)

阪南市では海洋教育に取り組んでおり、海や山など自然のことを学んでいる。自然に近いということは、地震による津波や大雨による土砂災害といった災害のリスクも常に背中合わせに存在しているということである。子どもたちには、海洋教育の中で、このような防災的な視点も学んでもらいたい。

(教育長)

他に何かないか。

(教育長職務代理者)

小学校の配膳室の空調整備について、教えてほしい。

(教育総務課長)

小学校配膳室空調整備については、今年度取組を進めてきた。全小学校、夏休み期間中に整備が完了し、この夏休み明けから運転を始めている。

(教育長)

他に何かないか。

(教育長職務代理者)

鳥取東中学校の空調設備の故障に伴う臨時休業について、教えてほしい。

(教育総務課長)

鳥取東中学校の空調設備の故障に伴う臨時休業等について、経過を報告する。

8月26日水曜日の正午過ぎ、鳥取東中学校の教室の空調設備にエラーが発生した。同校の空調は、1年生の教室が三菱製、2・3年生の教室が日立製の機器を使用しており、この両系統でエラーが発生したものである。

故障の連絡を受け、地元の電気設備業者と各メーカーに修理を依頼した。1年生の教室の三菱製の設備は、同日18時までには修理が完了したが、2・3年生の教室の日立製の設備は、当日中の修繕の段取りが整わず、復旧の見通しが立たない状況となった。

このため、厳しい暑さの中で生徒の健康と安全を確保することが困難であるという学校長の判断により、翌27日木曜日を全学年臨時休業とした。

27日は、午前中に地元の電気設備業者による点検を行ったが復旧には至らず、その後、日立メーカーによる修理が夜間17時30分頃から19時30分頃に行い、完了した。原因は、主電源が予期せず切断されたことによるエラーであったとのことである。

ただし、作業完了が夜間となり、稼働状況の最終確認を要すると学校長が判断したことから、28日金曜日については、1・2年生を休業、3年生は午前中に学力診断テストのみを実施する対応とした。

その後、本日28日13時20分現在、学校から「全ての通常教室のエアコンが正常に稼働している」との報告を受けている。これを受け、8月31日月曜日から通常どおり授業を実施すると、学校長が判断している。保護者には、本日夕方、学校連絡アプリを通じて周知する。

なお、復旧方法については、メーカー立ち会いのもと、学校と共有している。
(教育長)

他に、何かないか。

(教育長職務代理者)

コミュニティ・スクールについて、令和9年度にモデル校設置に向けた準備を進める期間が今年という認識でいいか。

また、令和7年度に行われたクラウドファンディングで集まったお金は、モデル校の活動費や委員報償費、地域学校協働活動推進員の謝金などに使用されるのか。市として導入を決めた公的な制度であれば、本来、実施に必要な基本経費は市の予算として確保するものではないかと思うが、通常予算ではなくクラウドファンディングを活用された理由を教えてほしい。

併せて、目標よりもかなり多くのお金が集まっていたが、超過した分の使い道についても教えてほしい。

(学校教育課長)

学校運営協議会を設置するいわゆるコミュニティ・スクールは、令和10年度

より全校で導入する。令和10年度の導入に向け、今年度は準備期間、来年度はモデル校において先行実施を行う。

コミュニティ・スクールに係る予算については、委員の指摘の通り、学校運営協議会委員の報酬や会議や活動に係る消耗品、地域学校協働活動推進員への報償費、導入に向けた研修のための費用となっている。

また、新規事業を始める際には、担当課で既存の事業をスクラップしたり、国や大阪府の補助金の活用やクラウドファンディングを実施したりすることで、少しでも財源を確保する必要がある。

今回のクラウドファンディングについては、目標金額を大きく上回るありがたい結果となった。このクラウドファンディングで寄付されたお金は、複数年かけて本コミュニティ・スクールの事業に関する予算に充てる予定である。

(教育長)

他に、何かないか。

(中央公民館長)

その他案件①において、9月12日開催の「新しい生涯学習の形 シニア世代のeスポーツ入門」を紹介した。以前、中央公民館でSNSを活用して、周知を行っていく話をしたが、このeスポーツの講座について、阪南市の公式Instagramにチラシ等が投稿されている。今後もInstagramやLINE等を活用し、発信を強化していく。

(教育長)

他に、何かないか。

(生涯学習部長)

熊本地震の話があったが、大阪府の要請もあり、本市の職員が1週間熊本に派遣された。次回は、9月中旬に派遣予定である。

(教育長)

他に何かないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次回の令和8年第9回定例教育委員会は、令和8年9月25日金曜日15時から阪南市役所 第2会議室で開催したいが、いかがか。

(全員)

異議なし。

(教育長)

令和8年第8回定例教育委員会を閉会する。

以上